

放課後等デイサービス事業所における自己評価

公表：令和 2年 2月 5日

事業所名 放課後等デイサービス夢☆あこがれ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12			利用者が体を動かせるだけのスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	12			十分な人数配置を行い、こまやかな支援がいき届くようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12				
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	2		職員会議 朝会や支援員会議、職員間共通のSNS等を利用して参画を行っている。 支援会議	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			12		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	1		職員会議 月に一度職員研修を行い、資質の向上に努めている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12			保護者のニーズは多いができるだけ努力しています。	

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12			朝会でその日の利用者に合った対応をしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12			保護者のニーズに応じるように送迎もしている。 月間・週間の課題を設定し、支援へとおろしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	12			個別支援にもとづいて行っている ひと月に1週間、個別支援強化週間を設けたりと集団での活動と分けて取り組む活動を設定している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12			支援開始前に、朝会を毎日実施し、打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	3	終了後、送迎に入るので職員間はラインで共有している。 終了後にそろって打ち合わせは難しいが、共通のSNS等を活用して、共通理解に努めている。	送迎等終了したらその日の出来事を振り返る時間が必要だと思う。 サービス提供時間外に行う送迎によりLINE等で共有しているが、不十分となることがある。翌日の朝会で振り返りを行い、気付いた点等を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	3			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12			毎月職員会議を行っている		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	12				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12			利用者の担任と意思疎通を図っている。 職員、学校、保護者、その他事業所の方と密な連絡をとり情報共有に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		11	1	医療的ケア児該当なし	現在、看護師が配置されていないので、医療的ケアが必要な利用者は受け入れていないが、医療機関を定期的に受診している利用者の保護者と主治医とのやり取りについては都度確認を行っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	12				新規就学の利用者については、保護者のみの情報にとどまらず、他事業所とも連絡をとりながら情報共有と相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9		3		直接移行した先へ情報を提供はしていないが、相談支援員を介して情報共有できるように相談支援員に情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12				やまびこ医療福祉センターの専門の方から支援時の注意点・アドバイス等の助言を受けながら支援へとつなげている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12				
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			12		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			毎日連絡帳を書いている	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		6	6		ペアレントトレーニングを行える職員配置がない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			12		現在、保護者会を2年に1回程度開催するとしていたが、来年度からは1年に1回以上開催予定である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12				
	35	個人情報に十分注意しているか	12				
	36	障かひのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		10	2		現在、計画を立てており、今後進めていく予定である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12				

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

☆業務改善に向けて

令和2年1月の支援会議で、事業所評価について確認・来年度に向けて検討を行いました。

○支援員同士で支援評価を行う ○活動計画立案者の変更 ○活動目標の達成度合いを図る